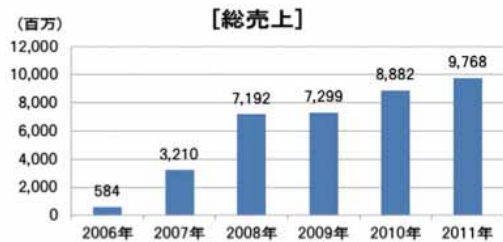


ホスピタリティパートナーズグループ事業内容

ホテル運営、コンサルティングの プロフェッショナル集団

スマイルホテルの事業方式には、直営、フランチャイズ、賃貸借、運営受託等、そのホテルに最も適した方法での運営方式を採用しています。グループ内企業には、ホテルのコンサルティング部門、新規開発部門、広告部門、ポイントカード部門、旅行代理店と案件発掘から送客に至るまでの過程をワンストップで行うことが可能であり、他に例を見ないホスピタリティ産業に特化したビジネスを展開しております。各部門のプロフェッショナル、専門資格者が集まりビジネスを行うことによりローリスク、かつスピード感のある経営を展開しています。



堅実経営にて年々着実に売り上げが増加しています。

グループ力を活かした 総合的なホテル運営事業

ホスピタリティオペレーションズ事業内容

日本で最もお客様に喜ばれるホテルチェーンに

当社は現在、全国に32のホテルと4つのスキー場を運営しています。ホテル運営事業を中心に事業領域は非常に広範にわたり、主に若手社員が中心となって運営を行っております。「スマイルホテル」を中心に、プレミアイン、プレミアリゾート タ雅 伊勢志摩、レストラン シェルブール、スキー場とその土地にあった様々なブランドを展開しています。2016年のホテル100店舗、スキー場10カ所の目標へ向けてグループ全体としてホスピタリティ業界におけるリーディングカンパニーを目指してきたいと思います。



若い会社ならではの柔軟性、スピード感。

2005年創業の当社の歴史はまだ8年。長い歴史ではありません。しかし、柔軟な感性、スピード感をもった事業展開はどこにも負けません。そして、これからもまだまだ進化を続けます。社員平均年齢は37歳と若く、若手社員が中心となって会社を動かしています。フラットな環境の中で、皆がアイデアを出し合い、良い意見は積極的に取り入れています。プランや企画も若手社員の声を積極的に取り入れ、数々のヒット企画を生み出しています。当社には社長室はありません。社長はフリーデスクに座り社員と肩を並べて仕事をしています。いつでも意見や企画を話せる環境があり、活発な意見交換が日々行われています。



新入社員レポート



現在はフロントを中心に業務を行っています。日々忙しい業務に追われながらも、外国のお客様向けのパンフレット作りを任されるなど、少しずつ仕事の幅が広がってきました。浅草は観光目的の海外からのお客様が多いので、日本的な温かみのあるスマイルを届けていきたいです。

研修、キャリアアップ制度

入社後は3カ月間の研修を行います。都市型ビジネスホテルとリゾートホテルの両方で実地研修を行い、異なるホテル運営を学んで頂きます。フロント業務を中心に業務を行い、当社のホスピタリティマインドを体得して頂きます。マネジメント業務にも関わって頂き、将来的には支配人、エリアマネージャー、運営本部、マーケティング部門、管理部門等について頂きます。

研修スケジュール

4月	オリエンテーション、ビジネスマナー、実務研修
5月～6月	ローテーションにて様々な店舗にて研修
7月	配属先決定、各ホテル、または本社に配属
2年目～	次期リーダー研修、交換研修、マネジメント研修等を実施

企業情報

- 正式社名 株式会社ホスピタリティオペレーションズ
- 本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町二丁目5番16号 名古路ビル新館8階
- 設立 2005年7月
- 資本金 10,000,000円
- 社員数 400名(2012年12月現在)
- 売上高 46億円(グループ連結98億円)【2011年12月実績】
- 事業内容 ホテル運営(スマイルホテル、プレミアイン他) リゾート施設運営(ホテル、スキー場) レストラン運営(シェルブール) フランチャイズ(スマイルホテル) ターンアラウンド(事業再生)

新入社員小林さんのある一日

9時	出社	ナイトスタッフからの引き継ぎ ・当日ネット販売、料金確認 ・昨日の出来事、当日の注意事項確認等 当日の予約確認 ・お客様を万全の体制でお迎えするための準備 チェックアウト業務 ・お荷物のお預かり、宅配便の発送業務等
11時		チェックアウト業務 ・お客様対応、電話対応、予約作成等業務
14時	休憩	
15時		チェックイン業務 ・ご予約のお客様のお迎え、周辺の観光情報やお勧めのお店のご案内等、様々なご要望にお応えする
18時	退社	

<キャリアアップ制度>

- 1.資格取得奨励制度
- 2.交換研修制度
- 3.マネジメント研修



採用コンセプト

求める人物像は経営方針にもかかっている、「常に正直であり、常に真面目に業務に取り組める人」。また、社内外の人とのコミュニケーションが取れる方を歓迎致します。設立して8年目の若い会社ですので、会社の成長と共にご自身が成長できるチャンスがあります。

問い合わせ先

人事総務部
採用担当:宮本、西平
E-mail: jinji@hospitality-operations.co.jp

マイナビよりエントリーをお待ちしております。



ホスピタリティパートナーズグループ 代表
株式会社ホスピタリティオペレーションズ
代表取締役社長 田中 章生

誰もが「ほっ」とする、
スマイルのあるホテルをつくりたい。

社会人になったばかりの頃、出張が多かった私は全国各地のホテルに泊まりました。するとその中でなぜか「ほっ」とさせてくれるホテルがありました。それは、ホテルの方たちが笑顔で迎えてくれる温かみのあるホテルでした。ホテルという所は、どんな素晴らしい施設よりも『人』だと感じた事が、今日のスマイルホテルを運営する原点となりました。

米系の不動産ファンドでホテル運営会社を設立した時、ホテル経営に関わる機会がありました。けれども、短期的な利益目的でホテルを売買するファンドの枠組みの中で、ホテルを経営する仕事に少しずつ疑問を感じ始めました。ホテルをご利用されるお客様や働く仲間、そしてホテルを育てくれる地域社会とずっと長期的で暖かい関係を築いていきたい。

それが私がスマイルホテルを始めた『想い』です。

ホテルの本当の価値。



社名にもなっている「ホスピタリティ」。

気配り、相手の気持ちを「察する」という意味があります。

お客様の喜ぶことをしたい、安心する空間をつくりたい、困っていることや不安を解消してあげたい。

私たちはお客様の気持ちを「察する」存在でありたいと思います。

震災当日に仙台のホテルに宿泊されていた、あるお客様からお言葉を頂きました。

「自分たちが不安な時に、僕たち宿泊客に対しできる限りのことをしてくれた。こんな時だから快適に過ごしてほしいと不自由な中でベッドメイクまでしてくれた。いつも僕は5つ星ホテルに泊まります。でも、たまたま泊まったスマイルホテルで「ホテルの本当の価値とは何か」を考えさせられました。見てくれが豪華だとか、食事がおいしいとか、設備が優れているとかそういうものではなく、ホテルの価値とは、「人が困っている時にどれだけ親身になって行動できるか」というホスピタリティの心だと思います。」



スマイルホテルのブランドプロミス

笑顔は笑顔を生む、笑顔は幸せを生む。

＜ホスピタリティパートナーズグループの経営理念＞

1. 社会に役立つことをする
2. 従業員全員が幸せになる
3. 正直に、真面目に仕事に取り組む

社会に役立つことがしたい

私たちのビジネスの中心には、「地域社会への貢献」という想いがあります。例えばスキー場。一つのスキー場が閉鎖されれば、地元の観光業に携わる企業、そこで働く人々など多くの方々に影響が及びます。短期的な利益を考えれば、事業再生は簡単な事ではないかも知れません。でも、当社のノウハウや、培った知識で事業を再生できれば、たくさんの人々の雇用が守られ地域に訪れる人が増えます。そして、活性化に繋がります。現在、当社の4カ所のスキー場のうち、2施設が事業再生によるものであり経営は軌道に乗りつつあります。私たちは、常に長期的な視点で地域と社会と人々への貢献を目的としてこれからも努力してまいります。

従業員全員が幸せになる

ホスピタリティ産業において従業員が不幸せでは、お客様に笑顔を届ける事はできません。安心して、生き生きと働ける環境があってこそ本当の笑顔を届けることができます。一人ひとりの従業員の笑顔が集まって当社が成り立ち、そんな従業員の笑顔を守るとはとても重要なことです。「笑顔が笑顔を生む」そんな環境づくりを目指します。誰でも、どんな場所でも、頑張る人・やる気のある人にはどんどんチャンスを提供し、得意分野を伸ばします。入社3～5年で支配人やマネージャーに抜擢されることも珍しくありません。

正直に真面目に仕事に取り組む

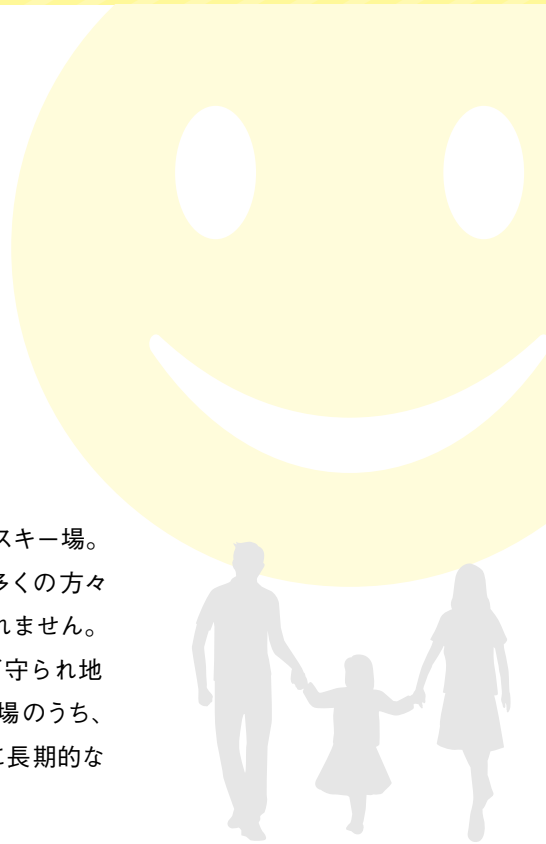
言葉にすると当たり前のことも知れませんが、しかし一番重要な事だと思えます。人から信頼される為には、正直であること、真面目であることが大切です。何かミスがあった時にごまかしたり隠したりすれば後々必ず信頼を失います。だから私たちは一緒に働く人に対しても、お客様に対しても常に正直に真面目に対応していきます。

「目指すこと、夢」

2016年までにホテル100店舗、スキー場10カ所

創業から一貫してホテル数を増やしてきました。

今後は、「地域社会と人々の貢献」を目的とし2016年までにホテル100店舗(16年までにスキー場10カ所)の目標を掲げています。事業所を増やすことで雇用を増やし、衰退している地域を活性化させることにより社会貢献に繋がると私たちは考えます。また、働く従業員にとってもチャンスが与えられます。会社が成長している方が仕事は楽しいはずです。明るく楽しい職場をひとつでも増やし、地域にスマイルを広げていきたいと思っています。



ホテル運営事業部
副支配人 三浦 真一(入社14年目)

「常に冷静でいること、どんな時でも笑顔を大切に」

今まで経験したすべての事が今の業務に役立っています。入社して間もない時に、新規ホテルの開業準備に携わりました。オープン前までの道のりは気力的にも体力的にも大変でしたが、たくさんの社員が団結し一つのホテルをつくりあげる過程はとてもやりがいのあるものでした。ここ数年は交換研修制度等を通じて色々な事業所を経験し、その事業所のカラーや戦略を一つひとつ吸収することができました。

現在の主な仕事は、スタッフの労務管理、シフト管理、社員教育、そして一人でも多くのお客様に来て頂く為の戦略的マネジメント業務と多岐にわたっています。勤務地のホテルは、当社のフラッグシップホテルであり、毎日とても忙しい為、複数の業務が重なった時は大変なこともあります。しかし、それがお客様やスタッフに伝わらないよう常に気持ちに余裕を持つことを心掛けています。今はスタッフを育てることにやりがいを感じています。会社としてのホスピタリティの心を伝えながら、できるだけその社員の個性を伸ばし、一人でも多くの人材を教育し質の高いホテルを作っていきたいと思っています。当社はとても柔軟でスピード感のある会社なので、会社の変化と共に自身も多くの経験ができ、成長できる環境です。

「フロント、接客業務から、販売促進に至るまで
若いうちから幅広く経験できる」

ホテルの仕事に興味を持ったきっかけは、とあるホテルに泊まった時に会ったホテルマンの方でした。話し方や接客態度、その姿がとても洗練されていて、思わず「私もこういう仕事がしたいです!」とお伝えしたところ、「何かあればいつでも相談ください」とそこで働く全員の方の名刺を頂き、本当に感激しました。大学時代はホテル関連のセミナーに参加するようになり勉強していくうちにシティホテルより、ビジネスホテルの方が接客から営業、マネジメントにまで幅広く関わることができる事を知り、また当社の一貫したホテル総合ビジネスに強みを感じ入社を決めました。現在は、フロント・接客業務を中心にアルバイトスタッフのシフト管理や事務的な仕事まで、何でもやらせてもらえます。まだ2年目の私ですが、意見や提案に関しては支配人も先輩方もきちんと聞いてくれます。実際に形になった時の喜びは大きいです。今は、少しずつですがマネジメントに関わる仕事も勉強しています。今後は、自分のカラーを少しずつ出して、あの頃出会ったホテルマンの方のように、何かひとつでもお客様の心に残るようなホテルにしていきたいです。

「重要なのは、何に興味を持つか」

就職活動において重視していたのは、企業規模や知名度ではなく「自分がどんな仕事に、どこまで携われるのか」ということでした。経理業務は、大企業になる程分業化が進んでいますし一通りの業務に関わるようになるまでには時間がかかります。この会社に出会って色々と話を聞く中で、若い人でもやる気があればどんどん任せてくれる環境と聞き、入社を決めました。ホテル運営に関わる全てのことを一貫して行っているグループ企業ということも魅力に感じましたし、事業再生・M&A等他社ではなかなか経験できないことにも関わる事ができます。実際に入社してみて驚きました。熱い社長の気質そのままにスピード感をもって会社が日々動いています。任される仕事領域は広く、新卒入社1年目の私ですが、既に7つのホテル、1つのスキー場の経理業務を任されました。先日は、新しい社内規定・マニュアルを自分で作成して全国支配人研修会でプレゼンテーションを行いました。緊張しましたが、皆さん真剣に聞いてくれて、きちんと考えてくれて感激しました。一番大切にしていることは、支配人をはじめ各事業所の方々とのコミュニケーションです。全国に事業所がある分、意思疎通は密に行うようにしています。将来的には、経営や財務面に関わるようになりたいと思っています。また、資格取得についてのサポート体制もあるので税理士の資格にも挑戦していきたいです。



ホテル運営事業部
藤沼 智花子(入社2年目)



本社 経理部
田村 雅宏(入社1年目)